

ツバキ一輪色とりどり

松花堂庭園で展示、来場者楽しむ



オリンピックマークがデザインされた花器

4月2日～4日の3日間、松花堂庭園で「第32回松花堂つばき展」が開催され、約750人の来場者が、庭園に自生するツバキや約300種の切り花の展示を楽しみました。



さまざまなツバキの一輪挿しを鑑賞する来場者

同展は、平成元年から毎年開催されてきましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の流行により中止。32回目の開催となった今回は、会場入り口での検温やアルコール消毒など、感染予防対策を行った上で実施されました。

庭園内では、オリンピックの聖火台や絵画の額などをイメージした竹の花器にツバキが飾られ、来場者はゆっくり歩きながら趣向を凝らして飾りつけられたツバキを鑑賞していました。また、屋内会場ではツバキの切り花を一輪挿しで展示。来場者は立ち止まって眺めたり、写真を撮ったりしながら、さまざまな色や形のツバキを満喫していました。

上原養五さん(78)は、「あいもかわらず素晴らしいです。早く内園も復旧した美しい庭園も見たいですね」と話していました。

交通規則学び登校しよう

4月20日、橋本小学校で交通安全教室が行われ、1年生95人が警察官から交通ルールなどを学びました。同教室は、集団登校が始まった1年生が安全に登校できるよう、道の歩き方などを学んでもらおうと、警察官を講師に招いて実施されました。はじめに、児童たちは交通ルールについて勉強。警察官から「道路を歩くときは右側を歩く」「横断歩道は止まっ

てから右左を確認する」などの説明を受けました。その後、運動場に設置した模擬コースで安全な道の歩き方などを練習。児童たちは、左右を見て車が来ていないかしっかり確認してから、手をあげて交差点や横断歩道を渡っていました。白神遙翔くん(6)は「横断歩道を渡る時は、しっかり右左を見て渡ります」と話していました。



手をあげて交差点を渡る児童

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

初めての給食 大満足

4月15日、市内の小学校で1年生の給食が始まり、児童たちはクラスのみんなと一緒に、待ちに待った給食を楽しみました。

この日の献立は、鶏肉のからあげ、野菜スープ、わかめご飯、牛乳です。

はじめに、児童たちは食物アレルギーや給食を準備するときのルールなどについて勉強。アレルギーで同じ給食が食べられない友達がいることや、給食をこぼさないよう準備中は静かにすることなどを先生から教わりました。

小学校で開始 元気におかわり

その後、真っ白のエプロンと三角巾を身につけた給食当番が、給食を準備。ご飯やおかずをお皿によそってお盆に載せ、落とさないようゆっくり丁寧に、みんなの席に運びました。机に給食が揃ったら、みんなと一緒に手を合わせて「いただきます！」。小さな口にとくさん給食をほお張り、元気におかわりする児童も。食べ終わると、「おいしかったー」「これからの給食が楽しみ！」と大満足の様子でした。

今月のこの人 女性消防士 日々に充実感



小林 萌さん

令和3年度八幡市新規採用職員。八幡市消防本部で二人目の女性消防職。

「消防学校という慣れない環境で過ごす日々は大変ですが、同期とともに協力し合うことで得られる達成感は素晴らしいものだと感じています」と初任教育の日々の充実感を話す小林さん。

「家族にもしものことがあったときに、少しでもできることを増やしたい」と進学した、救急救命士の資格取得を目指せる大学。そこで学ぶ中で得た知識と技術を生かしたいという思いが次第に強くなり、それが消防士を目指すきっかけとなりました。

「体力面で劣っている部分がある」と、少し

の時間でもトレーニングに取り組んできた小林さん。「消防学校の訓練は心配でしたが、少しずつ慣れてきました」と成果を実感します。

全国的にまだまだ少ない女性消防士。「女性ならではの目線が必要な時もあると思うので、女性消防士が増えていけばいいと思います。一緒に頑張りましょう」と未来の女性消防士へエールを送ります。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。秘書広報課へお問合せください。